

名古屋市天白公園 野鳥観察報告書

- 日時：2013年1月12日(土) 16:00~17:00
- 場所：名古屋市天白区 天白公園 大根池周辺
- 天候：晴れ
- 報告者：古久根伸征

1. 観察ポイント地図



2. 天白公園と大根池の概要

-)天白公園は地下鉄原駅から南南西に約1.1km。
-)駐車場があるも、家族で遊びに来られる方々で土日は満車となる事が多い。トイレ完備。
-)無料バーベキュー場あり(予約不要、早い者勝ち)
-)遊具あり。ローラー滑り台は人気で、私は1日に2回滑ってお尻の皮がむけた。滑り方に注意。
-)大根池は天白公園内にあり、周囲約700mの散歩コースがある。
-)池は「ため池」。当初は水田のかんがい用として作られたが、現在はかんがいとして使われておらず。主に治水と、憩いの場として使われている。(1)
-)参考文献(2006年発行)によれば、池のデータは以下の通り。(1)



面積	25000m ²
平均水深	0.5m

3. 観察結果

観察できたもの	観察数	備考
マガモ (と思う)	オス 2	地図①
ヒドリガモ	オス 4, メス 4	地図①
アヒル	2	地図①
バン	2	地図①
オオバン	7	地図①
ヒヨドリ	2	地図②
メジロ	2	地図②
カルガモ	6	地図③
ハシボソガラス	2	地図③
モズ	1	地図③
セグロセキレイ	1	地図③
ハクセキレイ	1	地図③
カワセミ	1	地図③

4. 写真 (撮影できたものに限る) (2)

■ 観察地点①



<マガモ (かな) : 冬鳥/一部留鳥>

- ・マガモかアイガモ。
- ・今の自分には判別できない。
- ・飛べたらマガモ、さばいて肉に赤味が多ければマガモ、食事のお店で値段の高い方がマガモ、夏にいたらアイガモ、人に対する警戒心が低いとアイガモ・・・などなど諸説あるも私には判別不可。すみません。
- ・鴨鍋、かもねぎ、鴨南蛮等にて食す。



<ヒドリガモ : 冬鳥>

- ・口笛を吹いたような「ピュー」という鳴き声は、文面では説明不可。
- ・マガモ、アイガモと同じように食べられる。



<アヒルとカルガモ：留鳥>

- ・アヒルは有名な「北京ダック」があるように、食べることができる。
- ・カルガモにキレイな青い羽があることを知る。
- ・カルガモも食べられる。



<バン：この辺では留鳥>

- ・北日本/夏鳥、南日本/留鳥
- ・足は緑がかった黄色。水かき無し。



<オオバン：この辺では留鳥>

- ・観察していて、「千と千尋の神隠し」に出てくる、「かおなし」を想像してしまった私。

■観察地点③



<モズ：留鳥>

- ・「はやにえ」を枝等にひっかけ、話題を作る。
- ・「しっぽ」を上下に振るが、何のためなのか？



<セグロセキレイ：留鳥>

・顔を見て判断。顔の黒い部分が多い。



<ハクセキレイ：留鳥>

・顔を見て判断。顔の白い部分が多い。
・あ～、あっち向いちゃった～。でも、信じて
ください。ハクセキレイでした。



<カワセミ：この辺では留鳥>

・寒くて、捕食まで待てず・・・。
・いつかは撮影、捕食の瞬間！頑張るぞ！

4.今後の課題

- ・写真の腕前を上げる。
- ・鳥の知識を増やす。

<参考文献>

(1)名古屋市環境科学研究所報

「大根池(名古屋市天白区)の32年間の水質の変遷と抽水植物が水質に及ぼす影響について」
土山ふみ氏他 2006年1月25日発行

(2)学研 「ポケット版 学研の図鑑5 鳥」